「斉王后忿而死、尸変為蝉、登庭樹、嘒唳而鳴、王悔恨。故世名蝉曰斉女也」。
［牛亨　問いて曰はく、「蝉を斉女と名づくるは、何ぞや」と。答えて曰く、「斉王の后忿して死し、尸は変じて蝉と為り、庭樹に登り、嘒唳として鳴くに、王　悔恨す。故に世蝉を名づけて斉女と曰うなり」と。／晋・崔豹『古今註』巻下「問答釈義」］

（４）「双関語」とは、例えば「藕 (ǒu) ＝ハスネ」という字から同音の「偶 (ǒu) ＝つれあい」という字を、同様に「蓮 (lián) ＝ハチス」という字から同音の「憐 (lián) ＝いつくしむ」という字を連想させる、「掛け詞」に似た修辞技法を言う。拙文「ハスに託した恋心」(『語研ニュース』16号、2006年12月）を参照。

なお、「糸」と「思」とが「双関語」として使用されている例に、「離歌」と題する漢代の作者不明の五言古詩がある。

晨行梓道中　晨に梓道の中を行けば
梓葉相切磨　梓葉は相い切磨す
与君別交中　君と交わりを別つ中
繾如新縑羅　繾たること新縑羅の如し
裂之有余糸　之れを裂けば 余糸 有り
吐之無還期　之れを吐くも 還期 無し

《朝に梓の並木道を行くと、梓の葉は親しげにこすれあう。あなたとお別れした今となっては、織りあがったばかりの薄い絹織物がピシッと切り裂けたかのよう。絹織物を裂けば、その裂け目にはたくさんの糸が現れるが、あなたへのあり余る思いを吐き出してみても、あなたは帰らない。》

最終句の「吐之」の「之」は、「余糸 (yúsī) ＝たくさんの糸」を指すが、それがさらに同音の「余思 (yúsī) ＝ありあまる思い」を連想させる働きをしていることは明らかであろう。

［付記］

本稿は、拙論「秋の糸を吐く青虫―秦観「秋日」「青虫」弁―」(『橄欖』第十三号、二〇〇五年）をもとに整理したものである。その際に、若干の補足・修正を加えた。

英語の辞書について（１）―英和辞典―

法学部
北尾　泰幸

１．はじめに

英語の勉強には英和辞典や英英辞典が欠かせないが、学生諸君は英語の辞書をどのような基準で選んでいるだろうか。「高校の先生に薦められた辞書を使っている。」という人もいれば、辞書そのものに注目するのではなく、「電子辞書の使い勝手が良かった。」という基準で辞書を選んでしまっている人もいるかもしれない。実は辞書選びは非常に重要であり、いい辞書を選ぶことによって、英語力の伸びも大きく変わってくる。私は毎年、年度初めの授業で英語の辞書の話をしているが、その話の一部を、これから数回にわたり紹介していきたいと思う。今回は英和辞典について取り上げる。

２．発信型辞典と収集型・蓄積型辞典

英和辞典にはいわゆる「発信型」の指向を持つものと「収集型・蓄積型」の指向を持つものの二種類があることをご存知だろうか。前者にあたるものは、(1a, b) の辞書であり、後者にあたるものが (2) や、研究社の『新英和大辞典 第６版』のようないわゆる大辞典である。

(1) ａ．井上永幸・赤野一郎 (2007)『ウィズダム英和辞典 第２版』三省堂
　　ｂ．小西友七・南出康世 (2006)『ジーニアス英和辞典 第４版』大修館書店
(2) 松田徳一郎 ほか (1999)『リーダーズ英和辞典 第２版』研究社

「発信型」辞典のさきがけは（1ｂ）の『ジー

ニアス』で、初版は1988年に発行された。それまでの学習英和辞典とは一線を画し、語法(phraseology）に重点を置くというコンセプトのもと、作成された。この「語法に重点を置く」という点が、「発信型」辞典といわれるゆえんである。語の使われ方を詳しく記述しているため、英語を書く際、『ジーニアス』や『ウィズダム』といった辞書を使うことにより、その語が使われる言語環境を確認しながら、文を組み立てていくことができる。つまり自分の意見を「発信」するときに威力を発揮する辞典だと言える。

これに対して、(2）の『リーダーズ』のような辞典は語法を重視するよりはむしろ、収録語数をできるだけ多くすることに主眼を置いている。よって、書かれた英語を読むときに、意味を探り出したり、あるいは日本語に翻訳する際、適した日本語訳を割り出したりする際に威力を発揮する。すなわち知識を「吸収」するときに使い勝手がいい「収集型・蓄積型」の辞書だと言える。[注]

そこで、収集型・蓄積型の『リーダーズ』のみを使って英語を学習している学生諸君には、ぜひ発信型の『ウィズダム』あるいは『ジーニアス』も併用することをお勧めする。

『ジーニアス』は版を重ね、現在は第４版まで出版されている。ちなみに、編者の 故 小西友七先生は神戸市外国語大学の名誉教授で、語法研究の第一人者である。(1ａ）の『ウィズダム』は、小西友七先生の門下生である井上永幸先生（徳島大学)・赤野一郎先生（京都外国語大学）によって、「ジーニアスを超える」ことを目標に開発が進められ、2003年に初版が発行された。『ウィズダム』も語法に重点を置いており、初版から好評を博し、2007年に第２版が発行されている。

３．発信型辞典―語法の重視

発信型辞典の『ウィズダム』や『ジーニアス』が語法を重視していることを、いくつか例を挙げて見てみよう。例えば、動詞 “succeed” の自動詞用法には「成功する」のほかに「(地位などを)継承する」という意味がある。「トムは家業を継いだ。」という文を書く場合、(3）の括弧内に前置詞を入れなければならない。

(3) Tom succeeded (　　) his family business.

ライティングの授業をしていると、前置詞を何となく「感覚」で選んでいる学生が多いことに気づく。しかし、その感覚は母語である日本語に基づいた感覚であり、必ずしも英語の感覚と一致しているとは限らない。むしろ、英語の前置詞の感覚と日本語の後置詞［助詞］が一致していないことが多々見受けられる。従って、面倒であっても、辞書を引くことが肝要である。このとき『ウィズダム』や『ジーニアス』のような語法重視の英和辞典は非常に役に立つ。(4）は『ウィズダム英和辞典 第２版』の該当ページからの抜粋であるが、自動詞 “succeed” 二番目の意味「A〈地位など〉を継承する」の前に［[succeed to A]］という表記があり、このような形で前置詞 to を取ることを明記している。このように、共起する前置詞の情報が詳しく載っているのが、語法重視の『ウィズダム』や『ジーニアス』の特徴である。

(4)『ウィズダム英和辞典 第２版』

suc·ceed /səksíːd/ 〔原義は「後に（sub）続く（ceed）; 継承する」〕
((名) success, succession, successor, (形) successful, successive, (副) successfully)
―― 動 (**～s** /-dz/; **～ed** /-id/; **～ing**)
―― 自 **1 a**〔**succeed in A/in doing**〕〈人が〉A〈事〉［…すること］に成功する，うまく A［…］する ▶*succeed in persuading* him 彼の説得に成功する［彼をうまく説得する］/I tried to explain the phenomenon but *succeeded* only *in causing* a misunderstanding. 私はその現象を説明しようとしたが，（意に反して）誤解を生む結果に終わった．
b 〈事が〉成功する，成果を上げる，うまくいく（↔fail） ▶The strategy fully ［partly, partially］ *succeeded*. その戦略は完全に［一部］成功した．
c 〈人が〉立身出世する，（仕事で）成功する（↔fail） ▶*succeed* in life ［business］ 出世する［事業に成功する］/*succeed* as an actress 女優として成功する．
2 〈人が〉後任となる；〔**succeed to A**〕A〈地位など〉を継承する ▶*succeed to* the throne ［presidency, family business］ 王位を継承する［大統領の地位を継ぐ，家業を継ぐ］．
3 〈事が〉後に続く，後に起きる（→近義 succeeding）．
―― 他 **1** 〈人〉の後を継ぐ，後任となる ▶He *succeeded* his father as president of the company. 彼は会社の社長として父の後を継いだ．**2**《かたく》〔通例 be ～ed〕〈物・事が〉後に続かれる，取って代わられる．

(5)『ウィズダム英和辞典 第２版』

【恩恵を求める】 **2**（→request 類義語） **a**〔**ask A to do**〕A〈人〉に…してほしいと言う［頼む，要請する］ ▶A policeman *asked* us *to* get out of the car. 警官は我々に車から出るように求めた(≒ A policeman said to us, “Please get out of the car.”)/The President *asked* Congress *to* accept his plan. 大統領は議会に自らの計画を受け入れるよう要請した/*I couldn't ask you to do that*. そんなことまでお願いしては悪いです（! 申し出の拒否ではない）/I *ask* you *to* consider the evidence before you.《かたく》あなた方の前に提出された証拠の検討を求めます（! 法廷・演壇など改まった場面で）．

次に、動詞 “ask” の例から、発信型辞書に語法の情報が盛り込まれていることを見てみよう。“ask” はもちろん「尋ねる。質問する。」という意味があるが、そのほかに「～に～を頼む」という意味がある。しかし、ask を「頼む」の意味で用いる場合は to 不定詞を共起させねばならない。(5) の『ウィズダム英和辞典 第２版』からの抜粋を見ていただくと、「A〈人〉に... してほしいと言う [頼む、要請する]」の意味の前に [[ask A to do]] と書かれており、to 不定詞を伴う環境ではじめて「頼む」の意味が現れることが明記されていることが分かっていただけると思う。このように、発信型辞典では、どのような言語環境でその意味が現れるのかが詳しく記述されている。

上記の二例では、『ウィズダム』を取り上げたが、『ジーニアス』も同じように語法を詳しく記述している。もちろん、『ウィズダム』や『ジーニアス』のような細かい語法の記述がなくても、優れた英語学習者は例文を細かく見ることによって、その語の使われ方を察することができるであろう。しかし、例文から語法を推し量ることができない学習者にとっては、このように細かく語法を記述してくれていると、非常に役に立つ。

４．発信型辞典―コーパスの利用

『ウィズダム』や『ジーニアス』のような発信型辞典は「コーパス (corpus)」を利用していることも特徴として挙げられる。コーパスとは、新聞や雑誌その他文字で記された資料や録音された言語資料を集めた語のデータバンクのことをいう。つまり、生きた英語の資料集である。発信型辞典では様々なコーパスを解析し、語の実際の使われ方を探り出すとともに、その解析結果に基づいて、語義を使用頻度順に並べている。

例えば、『ウィズダム』の編者の一人である 赤野 (1996) の分析を見てみよう。副詞 “lamely” は「足が不自由な」を意味する形容詞 “lame” の連想から、昔の辞書ではよく lamely の意味として「不自由な足取りで」という意味が挙げられていた。しかし、コーパスを検索すると、“lamely” がどうやら「不自由な足取りで」という意味ではあまり用いられていないことが分かる。(6) は赤野 (1996) による、コーパスでの “lamely” の検索結果である。

各行は lamely が使われている文が挙げられている。lamely を真ん中に置くことにより、lamely の前後を見ることができ、lamely がどのような文脈で使われているかを察することができる。例えば、上から５行目を見ていただきたい。“The Herald commented lamely...” とあるが、仮に “lamely” が「足の不自由な状態で」という意味だとすると、新聞ヘラルド紙が「足の不自由な状態で」論評を述べるというのは非常に奇妙であることが分かる。また、下から４行目に、“I said rather lamely. ...” とあるが、その後の文を見ても、なぜ本人がわざわざ「足が不自由な状態で」自分が言ったことを強調しなければならないのかが分からない。そこで、コーパスを精査すると、“lamely” は explain, conclude, remark, respond, say など、「言う」ことに関係する動詞と共起していることが分かる。つまり、“lamely” は「足が不自由だ」と言っているのではなく、しゃべっているその状態が “lamely” である、すなわち「あやふや、心もとない」ことを示しているのである。このことから、『ウィズダム』では (7) のように、第一義に「(論拠・説明の仕方が) 弱く、下手に、あやふやに、頼りなさそうに」と記し、昔の辞書

(6) 赤野 (1996)

ear. The first act is expository and	lamely comic, acutely lacking the menace a
ptimist forcing his victory smile as	lamely as a first-time sushi eater? In cru
explain this contradiction, Van Atta	lamely contended, ″I said he was consideri
ns that senior adviser Charles Black	lamely defends as legitimate because the s
leep with her.″ The Herald commented	lamely that the recent decisions had opene
forgot the trio's name and concluded	lamely: ″Here are the girls.″ Looking some
conference, the President explained	lamely that the new policy would ″continue
ical tools to deal with this, and he	lamely has to echo Morgan and to explain th
p.) GANDERSHEIM: (finishing a little	lamely) ——They'd get me, too. Judith enters
s script may have started out pretty	lamely but it soon became much more nippy o
is merely melodramatic —— and rather	lamely so —— you begin to wonder why, setti
d go as fast as that,' I said rather	lamely. 'That's one can,' my passenger said
drug traffickers, could only remark,	lamely, ″I wish I had an explanation for ev
With mangled syntax, Bush responded	lamely, ″No because that's —— that —— I'm p
ght him off-guard. ″Oh,″ Tony *said*	lamely. ″That's great. What does he do?″

では第一義として挙げられていた「不自由な足取りで」の意味を第二義として挙げ、更に「((まれ・やや古))」という表示を付けている。更に、第一義の箇所には、発言動詞とともに用いるといったコロケーション（連語）情報も載せている。このように、コーパスを駆使することによって、語の実際の使い方をできる限り忠実に記述しようとしている。

(7) **láme·ly** 副 **1** (論拠・説明の仕方が)弱く，下手に，あやふやに，頼りなさそうに(連語 say，tell，explain などの発言動詞)．**2** 《まれ・やや古》不自由な足取りで．

―『ウィズダム英和辞典 第２版』

コーパスを駆使している他の例として、副詞 “apparently” を見てみよう。授業で学生に副詞 “apparently” の意味を尋ねると、形容詞 “apparent” からの類推により、「明らかに」という意味であると答える学生が多い。“Apparently, George is angry about the incident.” の意味を尋ねると、「明らかに、ジョージはその出来事について怒っている。」と答える学生が多いのである。しかし、これは全く逆の様子を表し、「どうも（聞いたところでは）ジョージはその出来事について怒っているようだ。」という意味であり、“apparently” は自分に確証がないときに使うことが多い。もちろん、apparently にアクセントを置いたり、but の後に用いたりして際立たてることにより、「明らかに」の意味を持つこともあるが、そのように際立たせない場合は、「どうも...らしい」という意味であり、むしろ動詞 “appear” の “it appears ...” と近い意味である。この “apparently” についても、『ウィズダム』や『ジーニアス』のような発信型辞書はコーパスを駆使し、頻度の高い順に語義を並べ、第一義にはこの「どうも... らしい」という意味を載せている。(8ａ）は『ウィズダム英和辞典 第２版』の記述であり、(8ｂ）は『ジーニアス英和辞典 第４版』の記述である。『ウィズダム』では、第四義に「明らかに」を挙げ、「形の apparent と違い、この意味は ((まれ))」という記述を加えている。これも、コーパスを分析したことによる成果である。

(8) ａ．『ウィズダム英和辞典 第２版』

ap·par·ent·ly* /əpǽr(ə)ntli/ [→apparent]

―― 副 (比較なし/**3** では **more** ～; **most** ～) **1** 〖文修飾〗(確証はないが)たぶん，どうも…らしい (自分が直接確かめていない内容を伝える時に用いる; →may 読解のポイント) ▶*Apparently*, George is angry about the incident. 聞いたところではジョージはその出来事について腹を立てているようだ/He didn't come to the party, *apparently*, because of his wife's illness. 彼はパーティに来なかったが，どうも奥さんの病気のせいらしい．
2 (実際はさておき)外見上は，見たところ; どう見ても ▶an *apparently* healthy baby いかにも健康そうな赤ちゃん/He is *apparently* disappointed. 彼はがっかりした様子だ．
3 〖通例 but ～〗(思っていたことと違い)実は (筆者の主張を述べる; →may 読解のポイント) ▶Ken looks about 20, *but apparently* he's still 14. ケンは 20 歳くらいに見えるが，実のところまだ 14 歳だ．**4** 明らかに (形 の apparent と違い，この意味は《まれ》)．

ｂ．『ジーニアス英和辞典 第４版』

***ap·par·ent·ly** /əpǽrəntli, əpǽr- | əpǽr-, əpéər-/
【[派]← apparent(形)】
――副 ❶ [しばしば文修飾] (実際はともかく)見たところは…らしい《◆ only, merely などと共に用いることが多い》‖ an ～ genuine five-dollar bill 一見本物らしい５ドル紙幣 / A～ (\,) (,) he is a good swimmer, though I have never seen him swim. 実際に泳いでいるのを見たことはないが，どうやら彼は泳ぎが上手なようだ(=It appears [×is apparent] that he is ...).
❷《まれ》[文修飾] 明らかに(clearly, evidently, obviously) ‖ A～ (\,) he is a good swimmer. He has won many races. 彼が泳ぎが上手なのは明らかだ，多くのレースで優勝しているから(=It is apparent that he is ...).

語法 (1) ❶, ❷ いずれの意味かあいまいな場合があるので，❶ の意味では seemingly, it seems [appears] that ..., ❷ の意では obviously, clearly, evidently; it is apparent [obvious, clear, evident] that ... などを用いれば明確になる．(2) 文中位も可能．コンマの有無による前の語の発音に注意: He is ～ a good swimmer. / He is, ～, a ...

❸ [文修飾] (予測や見かけとは異なり)実際は(in fact)．

このように、発信型辞書の『ウィズダム』・『ジーニアス』では、コーパスの生きた言語情報をもとに、実際の英語に即した新しい知見を大いに盛り込んでいる。

５．まとめ

以上見てきたように、英和辞典には「発信型」と「収集型・蓄積型」の二種類があり、発信型の辞書は、語法を重視した記述がなされており、またコーパスを駆使した生きた言語情報が載せられていることが分かっていただけたと思う。本稿を読むと、「収集型・蓄積型」の辞書は無意味であるかのような印象を持ってしまうかもしれないが、決してそのようなことはない。収集型・蓄積型の辞書も、収録語数の多さや訳のすばらしさにおいては、目を見張るものがある。しかしながら、英

語を書くことが多い学生諸君には、ぜひ発信型の辞書も手許に置いて勉強していただきたいと思っている。

また、「辞書は一冊持っていれば事足りる」というわけではない。各辞書に一長一短があるため、できれば複数の辞書を手許においていただきたい。発信型の辞書と収集型・蓄積型の辞書双方を手許に置いていただければ言うこと無しである。

最後にもう一点。辞書は新しい版が出たら、ぜひ購入することをお勧めする。昔、辞書学の研究者が、「新版」を車のフルモデルチェンジ、「新刷」を車のマイナーチェンジにたとえていたが、誤字・脱字の訂正や若干の加筆がなされている新刷までは気を配らなくてもよいが、最新の知見がふんだんに盛り込まれており、大幅に書き直されている「新版」が出版された際は、ぜひ購入していただきたい。車はフルモデルチェンジのたびに買い替えることはとてもできないが、辞書は十分手が出る買い物であるし、十分「お釣り」が来る買い物だと思う。

(参考文献)

赤野一郎（1996)「語法研究と辞書とコーパス」京都外国語大学第50回メビウス研究会口頭発表ハンドアウト

〈注〉もちろん、発信型辞書も、知識を吸収する際に役立つ。語法が充実している分、その語が使われている言語環境をもとに、語法情報を駆使して、意味を割り出すこともできる。ここでは、『リーダーズ』と対比するために、『リーダーズ』にはない要素として、英語を書いたりする際の「発信型」の側面を際立たせている。

虹の覚え方、あるいは薔薇戦争

元 経営学部
安藤　聡

スコットランドには驟雨が多い。突然降り始めた雨がいくら激しく降っていても、すぐにまた止んで青空が見えたりする。だから割と頻繁に虹を見ることができる。

スコットランドの北西部はハイランド地方と呼ばれ、山岳と渓谷が繰り返し連なる風光明媚な一帯である。ここには車窓風景が美しいことで知られる長距離ローカル線が二つある。グラスゴウからロッホ（Loch: 湖）・ロウモンドの畔を駈け抜けフォート・ウィリアムを経てマレイグまで行くウェスト・ハイランド・ラインと、インヴァーネスからカイル・オヴ・ロッハルシュまでのカイル・ラインがそれだ。所要時間は前者が片道五時間半、後者が二時間半だが、これだけの時間を車中で過ごしてもまったく退屈することはなかろう。私はかつて、グラスゴウとインヴァーネスからそれぞれの線に日帰りで往復乗車したので、二日間で合計十六時間を車中で過ごしたことになる。いずれの線も列車は一日に三往復程度しか走らない。

これらの線に乗ってみたいがいくら何でもそんなに長い時間汽車の座席に座っていることは出来ない、という人には、次のようなルートをお薦めしたい。すなわち、インヴァーネスからカイル・オヴ・ロッハルシュまでカイル・ラインに片道だけ乗って、カイルから海峡の橋をバスでスカイ島に渡り、ポートリーあたりで一泊して翌日アーマデイルの港からフェリーでマレイグに渡って、そこからウェスト・ハイランド・ラインでグラスゴウに出るのである。このルートでもまだウェスト・ハイランド・ラインの五時間半連続乗車が耐え難いという人には、途中のフォート・ウィリアムで